

日商産一発 第52号

2011年11月30日

商工会議所LOBO（早期景気観測）

――2011年11月調査結果――

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2011年11月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
（アドレスは http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.htmlです。）

(本件担当) 産業政策第一部 須田・張替
TEL: 03-3283-7839
FAX: 03-3213-8716
E-mail: sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間: 2011年11月16日~22日
○調査対象: 全国の414商工会議所が2846企業にヒアリング
(東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答)

Table with 2 main sections: <産業別回収状況> and <ブロック別回収率>. The first section lists industries like Construction, Manufacturing, Wholesale, Retail, and Services with their respective response counts and rates. The second section lists regions like Hokkaido, Tohoku, and Kanto with their response rates.

○調査項目: 今月の売上・採算・業況等についての状況 (DI値を集計)
※ DI値 (景況判断指数) について
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算: (好転) - (悪化) 売上: (増加) - (減少)

――【2011年11月調査結果のポイント】――

業況DIは、超円高やタイ洪水が影響し、回復の勢いが弱まる

11月の全産業合計の業況DIは、▲35.5 (前月比▲1.2ポイント)と、2カ月ぶりにマイナス幅が拡大。復旧・復興需要が続く一方で、超円高やタイ洪水などにより、製造業を中心に経営環境が悪化。先月まで続いていた回復の勢いが弱まりつつある。
先行きについては、先行き見通しDIが▲31.5と、今月から+4.0ポイント改善する見通し。年末・年始における消費・宿泊需要の高まりへの期待感が出ている。第三次補正予算の執行に伴う復興需要の本格化も好材料であるが、建設業では、人手不足による賃金の上昇に伴う、採算悪化への不安もみられる。また、超円高に伴う輸出の減少や取引先による生産・販売拠点の海外移転の加速に加え、幅広い業種においてタイ洪水による今後の影響を懸念する声も多い。

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2011年11月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 35.5	▲ 30.1	▲ 29.2	▲ 32.9	▲ 44.1	▲ 38.0
北海道	▲ 38.7	▲ 42.9	▲ 58.3	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 23.8
東北	▲ 13.0	22.7	▲ 23.3	10.0	▲ 9.7	▲ 50.0
北陸信越	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 24.3	▲ 50.0	▲ 48.8	▲ 44.7
関東	▲ 29.0	▲ 23.5	▲ 19.3	▲ 28.6	▲ 41.2	▲ 31.3
東海	▲ 34.1	▲ 12.5	▲ 24.4	▲ 64.3	▲ 40.0	▲ 38.2
近畿	▲ 41.3	▲ 47.6	▲ 34.7	▲ 17.6	▲ 48.1	▲ 47.4
中国	▲ 47.8	▲ 18.2	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 75.0	▲ 50.0
四国	▲ 44.2	▲ 45.0	▲ 39.3	▲ 12.5	▲ 58.6	▲ 42.9
九州	▲ 45.1	▲ 58.3	▲ 41.9	▲ 69.2	▲ 41.0	▲ 34.3

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2011年12月～2012年2月）
 上段：2011年11月時点
 下段：2010年11月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 31.5	▲ 34.7	▲ 30.2	▲ 27.7	▲ 33.7	▲ 30.5
北海道	▲ 40.2	▲ 46.0	▲ 40.7	▲ 35.9	▲ 38.1	▲ 39.9
東北	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 28.6
北陸信越	▲ 35.7	▲ 47.4	▲ 53.8	▲ 33.3	▲ 38.5	▲ 19.4
関東	▲ 19.3	4.5	▲ 26.7	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 45.5
東海	▲ 41.1	▲ 52.9	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 16.7	▲ 56.0
近畿	▲ 38.6	▲ 56.7	▲ 24.3	▲ 28.6	▲ 46.3	▲ 33.3
中国	▲ 35.4	▲ 39.3	▲ 35.1	▲ 33.3	▲ 28.6	▲ 41.0
四国	▲ 29.6	▲ 25.4	▲ 30.3	▲ 22.2	▲ 34.7	▲ 31.3
九州	▲ 36.9	▲ 46.2	▲ 39.4	▲ 30.0	▲ 34.3	▲ 33.0
	▲ 29.9	▲ 12.5	▲ 31.0	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 20.6
	▲ 46.8	▲ 45.0	▲ 52.5	▲ 53.8	▲ 45.5	▲ 39.4
	▲ 28.7	▲ 38.1	▲ 30.6	▲ 17.6	▲ 25.9	▲ 29.7
	▲ 42.6	▲ 47.6	▲ 39.1	▲ 44.4	▲ 44.6	▲ 40.4
	▲ 37.8	▲ 36.4	▲ 30.0	▲ 36.4	▲ 54.2	▲ 28.6
	▲ 48.6	▲ 45.5	▲ 41.2	▲ 35.7	▲ 59.3	▲ 57.9
	▲ 33.6	▲ 55.0	▲ 28.6	0.0	▲ 34.5	▲ 32.1
	▲ 41.9	▲ 50.0	▲ 28.1	▲ 41.7	▲ 41.9	▲ 50.0
	▲ 38.3	▲ 58.3	▲ 32.3	▲ 61.5	▲ 33.3	▲ 26.5
	▲ 40.3	▲ 43.5	▲ 38.7	▲ 20.0	▲ 41.5	▲ 44.1

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

産業別にみると、業況DIのマイナス幅は、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小したものの、他の3業種は拡大した。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「型枠大工、鉄筋工など専門業者が被災地の復旧・復興工事に流れ、地元の建設労働者が不足しているため、賃金が上昇し、採算が悪化」（一般工事業）、「住宅エコポイント制度の再開による住宅着工件数の増加を期待」（建築工事業）、「12月からコンクリートの価格が1トンあたり1000円値上がりするため、採算の悪化を懸念」（土木工事業）

【製造業】「急激な円高により、ドル建て取引を行っている香港向けの輸出で2億円の為替差損が発生」（計量器・測定器製造業）、「取引先が生産拠点を中国に移すため、来年1月から受注がなくなる。月300～400万円程度売上が減少する見通し」（自動車部品製造業）、「生活再建需要により、主力商品である羽毛布団の受注が増加」（織物外衣製造業）

【卸売業】「今月は比較的天候に恵まれ、出荷・消費が活発だったことから、売上が増加」（花卉卸売業）、「金の価格が短期間で大幅に変動するため、取引先が発注を最小限の数量に抑えている」（ジュエリー製品卸売業）、「円高の影響で、取引先が生産拠点の海外移転と原材料の現地調達を進めており、経営が厳しい」（繊維品卸売業）

【小売業】「11月になっても気温が高めに推移しており、防寒商品や冬物衣料の売上が伸び悩んでいる」（総合スーパー）、「福島県産の米から基準を超える放射能物質が検出されたため、売上への影響が心配」（米穀類小売業）、「円高により輸入商品の仕入価格が低下しているため、円高還元セールを実施。消費者の反応はよく、売上が好調」（百貨店）

【サービス業】「旅行控えで落ち込んでいた国内旅行客の宿泊が徐々に回復傾向にある」（旅館）、「忘年会シーズンにおける飲食・宿泊需要に期待」（旅館）、「取引先が大規模システムの開発拠点の海外移転を加速させており、自社の受注が減少」（ソフトウェア業）

【業況についての判断】

○11月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲35.5（前月比-1.2ポイント）となり、マイナス幅は2カ月ぶりに拡大。産業別にみると、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小、建設業はほぼ横ばいとなった。一方、製造業は、超円高や欧米経済の変調による輸出の減少に加え、タイ洪水に伴う部材の調達難や取引先の被災が影響し、生産が落ち込んだことから、マイナス幅が拡大。小売業は、気温が高めで推移したため、衣料品など冬物商品の売上が伸び悩み、業況が悪化。
 ○向こう3カ月（12～2月）の先行き見通しについては、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲31.5と、今月から+4.0ポイントの改善を見込んでいる。
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、製造業はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○売上面では、全産業合計の売上DIは▲28.3（前月比-0.8ポイント）と、前月からほぼ横ばいで推移。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小。一方、超円高やタイ洪水により生産・輸出が落ち込んだ製造業、サービス業はほぼ横ばい。小売業は、冬物商品の販売不振が響き、マイナス幅が拡大。
 ○向こう3カ月（12～2月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲25.0と、今月から+3.3ポイントの改善を見込んでいる。
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、製造業はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

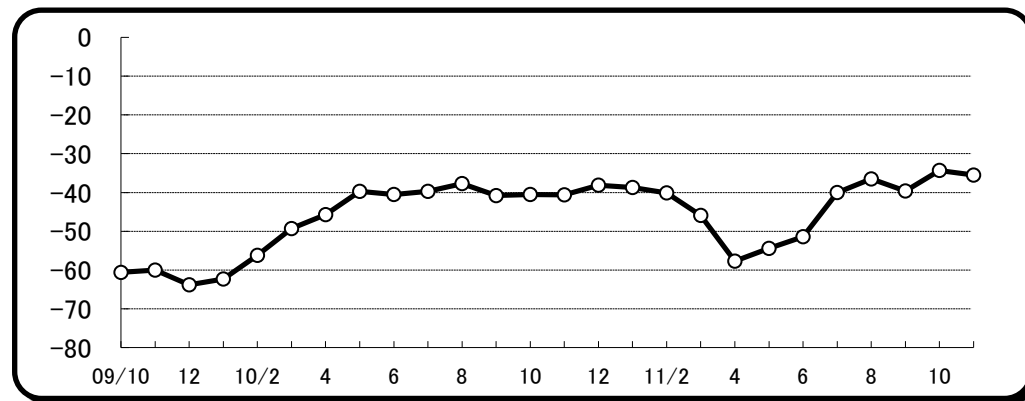
	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲51.4	▲40.0	▲36.5	▲39.6	▲34.3	▲35.5	▲31.5
建設	▲52.7	▲45.8	▲48.4	▲38.2	▲30.7	▲30.1	▲34.7
製造	▲40.3	▲32.9	▲28.1	▲33.5	▲26.2	▲29.2	▲30.2
卸売	▲59.8	▲47.3	▲35.4	▲34.7	▲38.8	▲32.9	▲27.7
小売	▲51.0	▲35.1	▲38.9	▲45.8	▲37.6	▲44.1	▲33.7
サービス	▲59.9	▲45.9	▲35.5	▲42.8	▲39.4	▲38.0	▲30.5

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

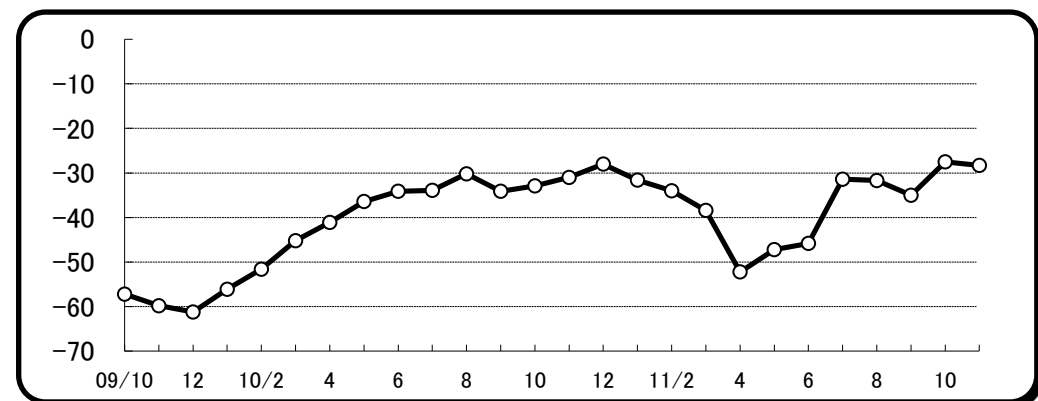
	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲45.8	▲31.4	▲31.7	▲35.0	▲27.5	▲28.3	▲25.0
建設	▲50.0	▲37.4	▲38.6	▲36.4	▲26.6	▲24.1	▲28.1
製造	▲29.7	▲21.1	▲20.5	▲23.0	▲13.7	▲13.0	▲22.1
卸売	▲53.5	▲43.8	▲37.3	▲32.7	▲29.7	▲22.6	▲18.8
小売	▲49.0	▲27.7	▲39.4	▲44.6	▲32.0	▲41.8	▲26.7
サービス	▲53.9	▲37.2	▲28.5	▲37.9	▲36.3	▲35.7	▲27.0

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○採算面では、全産業合計の採算DIは▲31.5（前月比+0.8ポイント）と、前月からほぼ横ばいで推移。産業別にみると、小売業はマイナス幅が拡大したものの、製造業、卸売業はほぼ横ばい、他の2業種は縮小した。原材料価格の上昇基調に一服感がみられることから、緩やかながら改善が続いている。

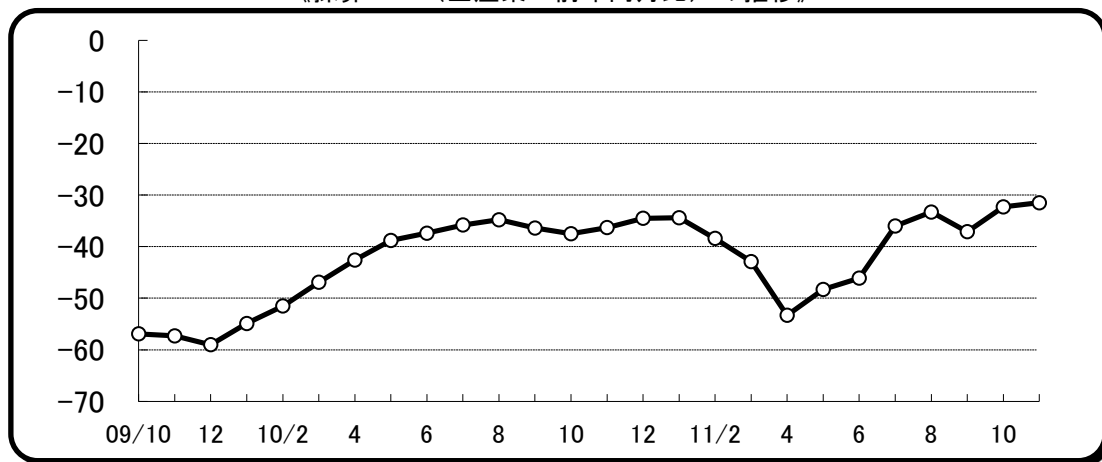
○向こう3カ月（12～2月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算DI（今月比ベース）は▲29.2と、今月から+2.3ポイントの改善を見込んでいる。

○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、製造業はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲46.1	▲36.0	▲33.3	▲37.1	▲32.3	▲31.5	▲29.2
建設	▲51.2	▲49.3	▲47.1	▲40.1	▲38.2	▲35.0	▲37.6
製造	▲39.7	▲29.0	▲29.3	▲32.9	▲24.9	▲24.2	▲25.8
卸売	▲40.9	▲42.7	▲31.2	▲30.7	▲28.4	▲28.3	▲26.9
小売	▲42.5	▲27.3	▲33.1	▲39.4	▲31.8	▲34.2	▲27.1
サービス	▲56.0	▲41.6	▲29.7	▲40.1	▲38.4	▲35.8	▲30.5

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りDI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲31.2	▲24.9	▲23.0	▲24.4	▲22.2	▲21.2	▲22.1
建設	▲37.9	▲37.2	▲33.2	▲33.7	▲29.0	▲23.3	▲29.7
製造	▲28.7	▲19.7	▲18.2	▲21.4	▲17.6	▲15.5	▲20.5
卸売	▲19.0	▲15.4	▲11.5	▲14.1	▲17.7	▲20.4	▲18.5
小売	▲28.7	▲23.8	▲24.6	▲24.1	▲23.2	▲23.0	▲20.0
サービス	▲37.6	▲27.8	▲25.4	▲26.5	▲23.5	▲24.3	▲22.7

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲21.2となり、マイナス幅は2カ月連続で縮小。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が拡大したものの、小売業、サービス業はほぼ横ばい、他の2業種は縮小した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べほぼ横ばいとなる見通し。産業別にみると、卸売業、小売業、サービス業はマイナス幅が縮小するものの、他の2業種は拡大する見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲34.4	▲33.7	▲29.2	▲30.0	▲27.8	▲25.8	▲22.7
建設	▲42.2	▲45.0	▲31.8	▲35.1	▲34.3	▲31.4	▲30.4
製造	▲44.8	▲40.2	▲38.6	▲40.2	▲35.6	▲33.8	▲24.9
卸売	▲25.2	▲24.4	▲25.9	▲29.5	▲22.3	▲25.2	▲21.3
小売	▲26.0	▲25.9	▲19.3	▲21.0	▲19.8	▲15.2	▲17.0
サービス	▲31.1	▲31.8	▲29.3	▲25.7	▲26.7	▲25.1	▲22.1

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲25.8と、原材料価格は依然高い水準が続いているが、総じて上昇傾向に一服感がみられる。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は縮小した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ縮小する見通し。産業別にみると、小売業はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
全産業	▲11.4	▲7.1	▲5.6	▲4.6	▲4.3	▲3.4	▲4.7
建設	▲14.0	▲11.4	▲13.2	▲13.2	▲4.8	▲2.2	▲10.8
製造	▲14.8	▲8.0	▲5.2	▲4.3	▲3.7	▲6.8	▲7.6
卸売	▲18.1	▲17.6	▲11.4	▲8.0	▲8.8	▲5.7	▲6.3
小売	▲5.0	▲0.6	▲1.4	0.0	▲3.5	▲1.9	▲0.8
サービス	▲10.3	▲6.1	▲2.9	▲2.5	▲3.4	▲1.2	▲0.9

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは▲3.4となり、マイナス幅は7カ月連続で縮小。産業別にみると、被災地の復旧・復興工事に技術者が流れている建設業、年末・年始での需要増を見越した人員確保が必要な小売業とサービス業は人手不足感が強まっている。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見通し。産業別にみると、小売業はマイナス幅が縮小するものの、製造業、卸売業、サービス業はほぼ横ばい、復旧・復興工事の受注見通しを慎重にみている建設業は拡大する見通し。

2011年11月

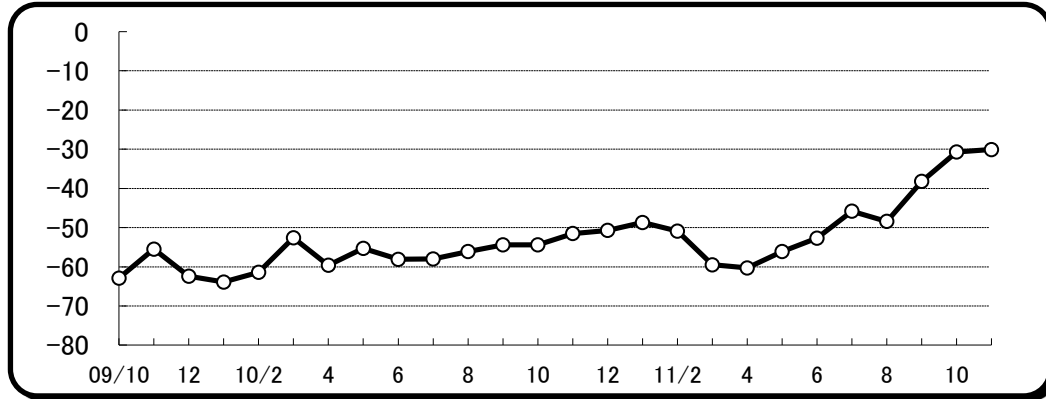
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-28.3	-25.0	-31.5	-29.2	-21.2	-22.1	-25.8	-22.7	-3.4	-4.7	-35.5	-31.5
北海道	-42.1	-22.4	-29.3	-28.0	-23.0	-18.9	-20.3	-18.9	-6.7	-12.0	-38.7	-33.3
東北	-1.7	-23.7	-19.1	-23.7	-14.0	-15.9	-29.6	-27.4	8.7	3.5	-13.0	-19.3
北陸信越	-36.9	-40.3	-34.4	-37.7	-23.8	-31.3	-22.2	-17.7	-3.8	-8.8	-41.9	-38.6
関東	-21.3	-20.1	-25.4	-28.3	-16.7	-20.5	-28.5	-24.8	-2.0	-2.0	-29.0	-29.6
東海	-37.5	-22.6	-35.3	-29.4	-18.2	-17.6	-17.9	-19.3	0.0	-8.8	-34.1	-29.9
近畿	-30.6	-25.1	-39.9	-28.2	-22.2	-21.2	-28.2	-25.0	-6.7	-5.6	-41.3	-28.7
中国	-34.4	-30.3	-32.2	-21.3	-33.7	-24.7	-21.3	-12.4	-14.4	-8.9	-47.8	-37.8
四国	-37.2	-23.9	-33.6	-30.1	-23.9	-21.2	-28.3	-30.1	-6.2	-5.3	-44.2	-33.6
九州	-32.6	-25.4	-43.0	-32.6	-28.9	-28.4	-26.2	-20.7	-5.6	-2.8	-45.1	-38.3
建設												
全国	-24.1	-28.1	-35.0	-37.6	-23.3	-29.7	-31.4	-30.4	-2.2	-10.8	-30.1	-34.7
北海道	-33.3	-40.0	-35.7	-42.9	-35.7	-35.7	-14.3	-21.4	-21.4	-42.9	-42.9	-42.9
東北	36.4	4.5	9.1	-13.6	0.0	4.5	-54.5	-59.1	40.9	18.2	22.7	4.5
北陸信越	-36.7	-53.3	-43.3	-60.0	-28.6	-57.1	-20.7	-20.0	-10.0	-23.3	-46.7	-56.7
関東	-22.1	-13.2	-29.4	-29.4	-17.9	-22.4	-42.4	-31.8	4.6	-1.5	-23.5	-25.4
東海	-6.3	-12.5	-25.0	-25.0	-12.5	-13.3	0.0	-6.3	18.8	0.0	-12.5	-12.5
近畿	-40.9	-31.8	-47.6	-28.6	-28.6	-33.3	-23.8	-19.0	-9.5	-14.3	-47.6	-38.1
中国	-27.3	-54.5	-45.5	-54.5	-9.1	-18.2	-18.2	-18.2	-9.1	-9.1	-18.2	-36.4
四国	-30.0	-35.0	-45.0	-45.0	-35.0	-30.0	-40.0	-40.0	-15.0	-10.0	-45.0	-55.0
九州	-54.2	-50.0	-62.5	-54.2	-45.8	-58.3	-29.2	-41.7	-33.3	-33.3	-58.3	-58.3
製造												
全国	-13.0	-22.1	-24.2	-25.8	-15.5	-20.5	-33.8	-24.9	-6.8	-7.6	-29.2	-30.2
北海道	-58.3	-41.7	-50.0	-41.7	-33.3	-16.7	-50.0	-25.0	-16.7	-16.7	-58.3	-50.0
東北	-3.3	-36.7	-36.7	-30.0	-13.3	-20.0	-46.7	-37.9	-3.3	-6.7	-23.3	-26.7
北陸信越	-13.5	-18.9	-5.4	-16.2	-13.9	-19.4	-36.1	-22.2	0.0	-8.1	-24.3	-24.3
関東	-4.6	-23.1	-13.8	-29.0	-11.2	-24.3	-32.1	-24.8	-9.3	-9.3	-19.3	-30.3
東海	-26.2	-23.8	-38.1	-24.4	-5.0	-7.5	-26.2	-21.4	-7.1	-11.9	-24.4	-31.0
近畿	-12.2	-22.4	-26.5	-24.5	-19.1	-25.5	-36.7	-30.6	-10.2	-10.2	-34.7	-30.6
中国	-6.7	-20.7	-23.3	-13.8	-20.0	-13.3	-23.3	-3.3	0.0	6.7	-40.0	-30.0
四国	-17.9	-10.7	-21.4	-21.4	-25.0	-25.0	-28.6	-28.6	0.0	-3.6	-39.3	-28.6
九州	-19.4	-9.7	-41.9	-35.5	-22.6	-22.6	-38.7	-29.0	-12.9	-6.5	-41.9	-32.3

2011年11月

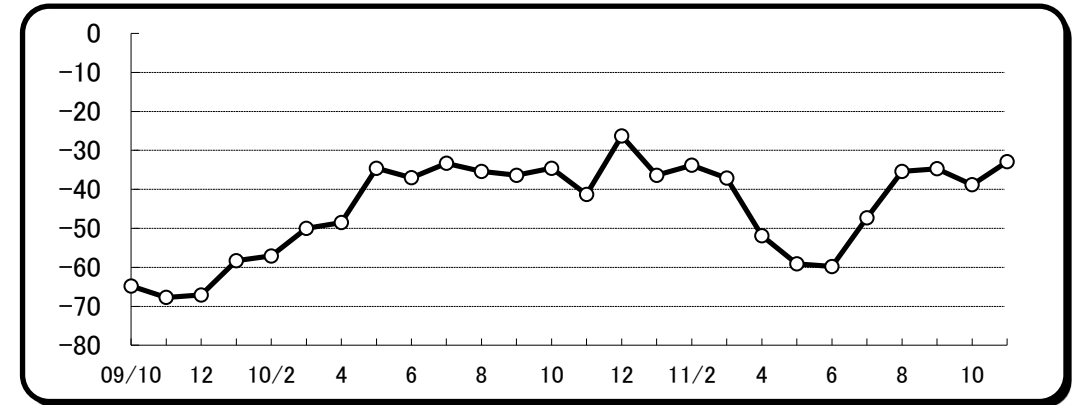
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-22.6	-18.8	-28.3	-26.9	-20.4	-18.5	-25.2	-21.3	-5.7	-6.3	-32.9	-27.7
北海道	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	-12.5	-37.5	-25.0	-12.5	-12.5	-25.0	-25.0
東北	-10.0	-30.0	0.0	0.0	-10.0	0.0	-30.0	-10.0	10.0	10.0	10.0	-20.0
北陸信越	-50.0	-28.6	-50.0	-28.6	-33.3	-25.0	-14.3	-7.1	0.0	0.0	-50.0	-28.6
関東	-15.6	-7.8	-28.1	-28.1	-15.6	-21.9	-37.5	-28.1	-3.1	0.0	-28.6	-22.2
東海	-50.0	-33.3	-42.9	-46.7	-28.6	-28.6	-14.3	-26.7	-21.4	-33.3	-64.3	-46.7
近畿	-5.9	-5.9	-5.9	-11.8	-11.8	0.0	-11.8	-5.9	0.0	0.0	-17.6	-17.6
中国	-27.3	-45.5	-18.2	-27.3	-45.5	-36.4	9.1	0.0	-18.2	-18.2	-36.4	-36.4
四国	-37.5	-25.0	-12.5	-25.0	-12.5	0.0	0.0	-37.5	-12.5	-12.5	-12.5	0.0
九州	-15.4	-23.1	-46.2	-38.5	-38.5	-23.1	-38.5	-30.8	-7.7	-15.4	-69.2	-61.5
小売												
全国	-41.8	-26.7	-34.2	-27.1	-23.0	-20.0	-15.2	-17.0	-1.9	-0.8	-44.1	-33.7
北海道	-50.0	0.0	-5.0	-10.0	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	5.0	0.0	-45.0	-25.0
東北	-9.7	-16.7	-9.7	-13.3	-3.3	-3.4	-6.5	-6.7	0.0	3.3	-9.7	-10.0
北陸信越	-41.5	-41.5	-34.1	-36.6	-28.9	-31.6	-12.2	-4.9	-2.4	-2.4	-48.8	-46.3
関東	-35.1	-27.1	-26.0	-24.0	-20.0	-17.0	-9.3	-18.8	3.1	2.1	-41.2	-34.7
東海	-56.7	-26.7	-36.7	-36.7	-24.1	-27.6	-26.7	-30.0	-3.3	-3.3	-40.0	-40.0
近畿	-44.4	-25.9	-60.4	-32.1	-24.0	-16.0	-21.2	-25.0	-9.3	-7.4	-48.1	-25.9
中国	-66.7	-29.2	-37.5	-12.5	-39.1	-34.8	-21.7	-8.7	-20.8	-20.8	-75.0	-54.2
四国	-65.5	-31.0	-55.2	-37.9	-34.5	-24.1	-31.0	-34.5	-6.9	0.0	-58.6	-34.5
九州	-31.6	-28.2	-33.3	-30.8	-25.6	-20.5	-12.8	-7.7	7.7	12.8	-41.0	-33.3
サービス												
全国	-35.7	-27.0	-35.8	-30.5	-24.3	-22.7	-25.1	-22.1	-1.2	-0.9	-38.0	-30.5
北海道	-38.1	-19.0	-28.6	-28.6	-28.6	-19.0	-14.3	-19.0	0.0	0.0	-23.8	-28.6
東北	-22.7	-40.9	-45.5	-50.0	-45.5	-54.5	-13.6	-18.2	4.5	0.0	-50.0	-45.5
北陸信越	-50.0	-54.1	-50.0	-45.9	-21.6	-25.0	-23.7	-29.7	-5.3	-8.1	-44.7	-33.3
関東	-28.2	-22.2	-31.9	-30.8	-19.0	-18.1	-28.4	-24.1	-2.6	0.0	-31.3	-31.3
東海	-44.1	-17.6	-32.4	-23.5	-27.3	-18.2	-9.4	-9.4	11.8	-2.9	-38.2	-20.6
近畿	-39.5	-32.4	-39.5	-35.1	-25.0	-25.7	-36.8	-29.7	0.0	5.4	-47.4	-29.7
中国	-50.0	-21.4	-42.9	-21.4	-64.3	-28.6	-42.9	-42.9	-35.7	-14.3	-50.0	-28.6
四国	-32.1	-21.4	-21.4	-21.4	-7.1	-14.3	-25.0	-17.9	-3.6	-7.1	-42.9	-32.1
九州	-37.1	-20.0	-40.0	-14.7	-22.9	-23.5	-23.5	-9.1	5.7	8.6	-34.3	-26.5

業況D I（前年同月比）の推移（全国）

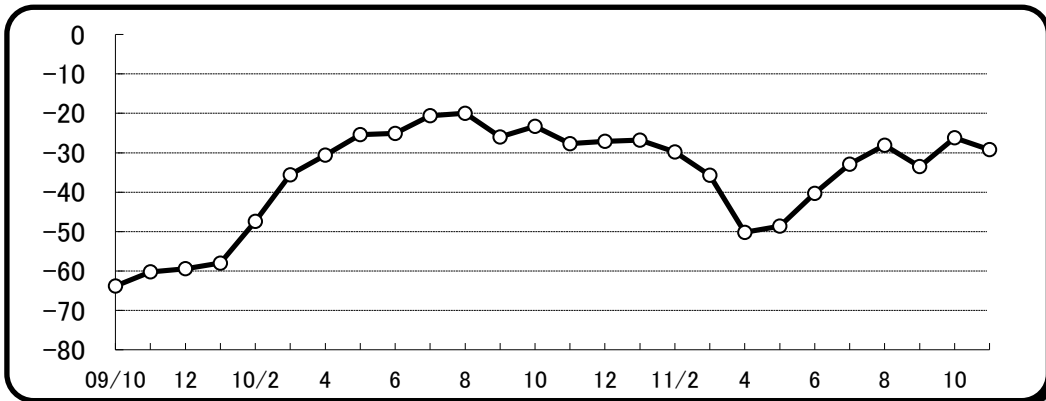
建設業



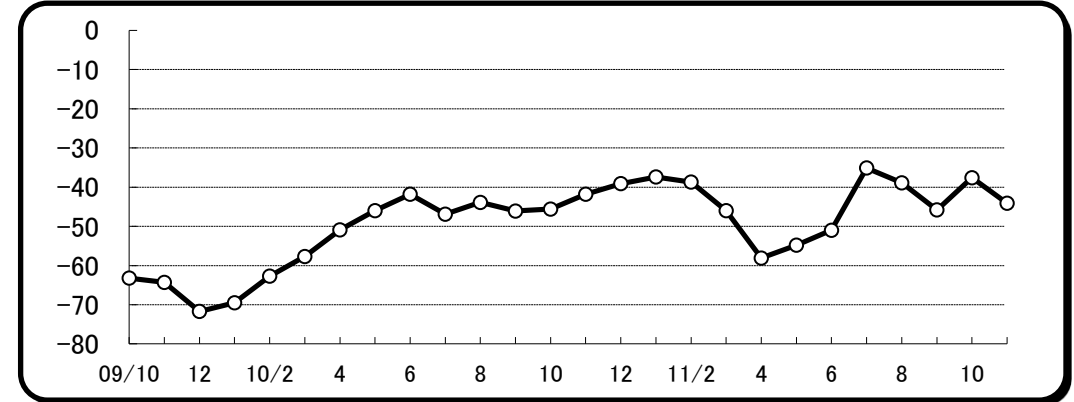
卸売業



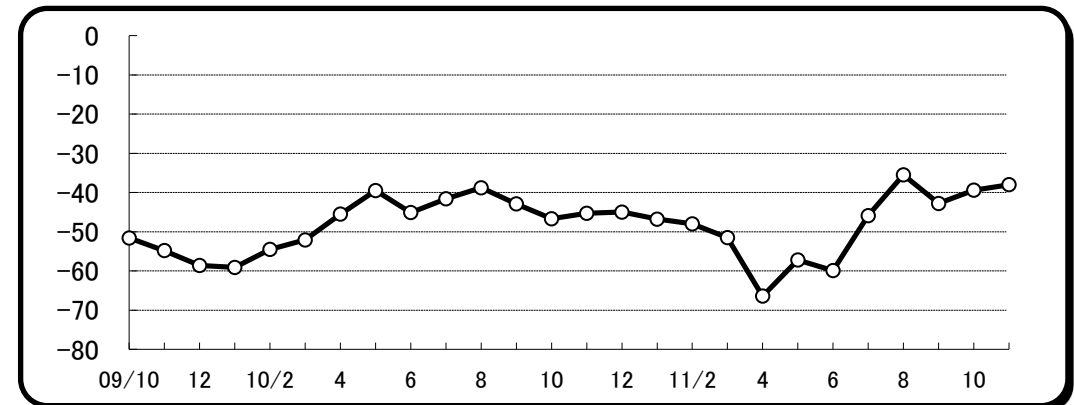
製造業



小売業



サービス業



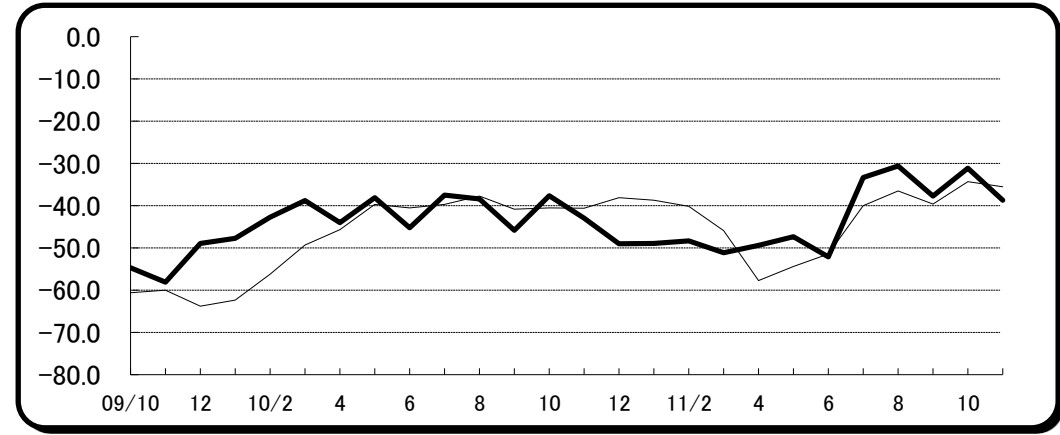
【ブロック別概況・北海道】

ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（北海道）

○全産業の業況D Iは、マイナス幅が2カ月ぶりに拡大。産業別では、卸売はマイナス幅が縮小したものの、他の4業種は拡大した。
 ○水産食料品製造業からは、「被災地からの代替受注や観光客数の回復により、売上が増加」との声、自動車部品製造業からは、「タイ洪水の影響で、生産に必要な部品を確保できず、売上が落ち込んでいる」とのコメント。一般飲食店からは、「土曜の予約が埋まらないなど、例年に比べ年末の予約状況が思わしくない」との声、旅館からは、「震災および円高の影響で、海外からの宿泊客数の低迷が続いている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、サービスはマイナス幅が拡大するものの、建設、卸売は横ばい、他の2業種は縮小する見込み。

—— 北海道 —— 全国

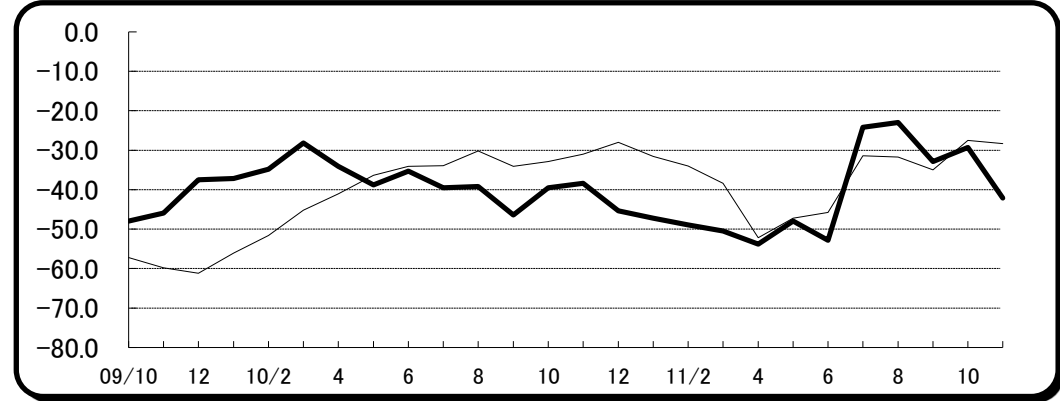
業 況



全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
業 況	▲ 52.1	▲ 33.3	▲ 30.6	▲ 37.7	▲ 31.1	▲ 38.7	▲ 33.3
売 上	▲ 52.8	▲ 24.2	▲ 23.0	▲ 32.9	▲ 29.3	▲ 42.1	▲ 22.4
採 算	▲ 42.3	▲ 28.8	▲ 22.2	▲ 36.2	▲ 28.4	▲ 29.3	▲ 28.0
資金繰り	▲ 26.8	▲ 12.3	▲ 12.7	▲ 21.7	▲ 23.6	▲ 23.0	▲ 18.9
仕入単価	▲ 28.2	▲ 30.3	▲ 16.7	▲ 23.2	▲ 17.6	▲ 20.3	▲ 18.9
従 業 員	▲ 14.1	▲ 10.6	▲ 2.8	▲ 13.0	▲ 5.4	▲ 6.7	▲ 12.0

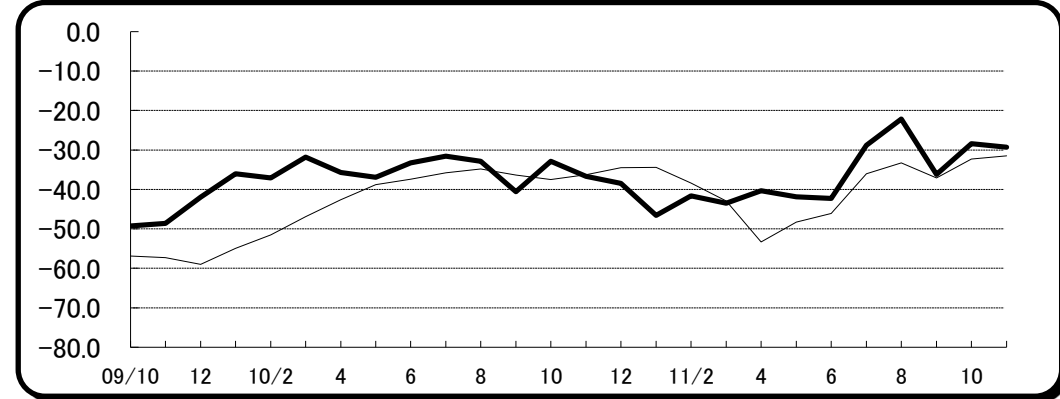
売 上



産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2月
建 設	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 53.8	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9
製 造	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 50.0	▲ 54.5	▲ 53.8	▲ 58.3	▲ 50.0
卸 売	▲ 62.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小 売	▲ 55.6	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 42.1	▲ 23.8	▲ 45.0	▲ 25.0
サービス	▲ 45.5	▲ 36.8	▲ 13.6	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 23.8	▲ 28.6

採 算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月連続で縮小。産業別にみると、サービスは業況が悪化したものの、他の4業種は改善した。
 ○一般工事業からは、「下請け職人が慢性的に不足し、工期内での完成に苦労している」とのコメント。産業用電気機械器具製造業からは、「原発事故後、電力会社からの受注が大幅に減少」とのコメント。百貨店からは、「原発事故の影響で、土日での家族客の来店数が落ち込んでいる」とのコメント。美容業からは、「9月以降、結婚関係の来客が前年比で増加に転じている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、サービスは業況が改善するものの、小売業はほぼ横ばい、他の3業種は悪化する見込み。

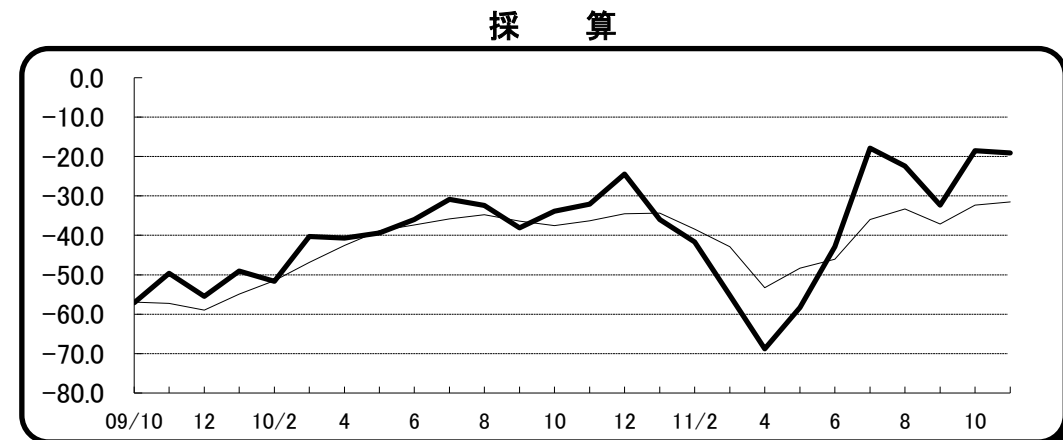
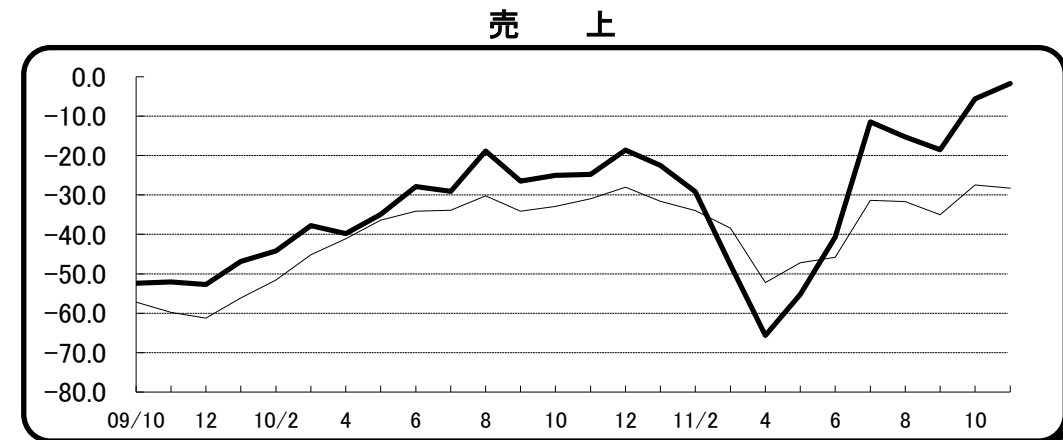
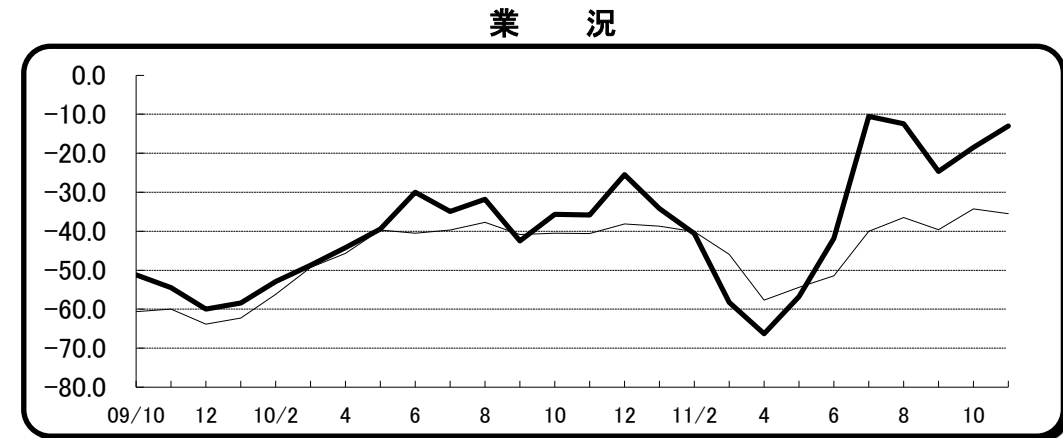
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 41.8	▲ 10.5	▲ 12.4	▲ 24.7	▲ 18.5	▲ 13.0	▲ 19.3
売上	▲ 40.7	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 18.5	▲ 5.6	▲ 1.7	▲ 23.7
採算	▲ 42.9	▲ 17.9	▲ 22.4	▲ 32.3	▲ 18.5	▲ 19.1	▲ 23.7
資金繰り	▲ 33.3	▲ 9.7	▲ 7.4	▲ 18.7	▲ 20.6	▲ 14.0	▲ 15.9
仕入単価	▲ 27.5	▲ 42.1	▲ 41.8	▲ 34.4	▲ 32.4	▲ 29.6	▲ 27.4
従業員	▲ 12.1	▲ 1.0	5.1	0.0	▲ 0.9	8.7	3.5

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 29.4	▲ 5.6	▲ 11.8	23.5	21.1	22.7	4.5
製造	▲ 38.1	0.0	▲ 34.6	▲ 42.9	▲ 25.9	▲ 23.3	▲ 26.7
卸売	▲ 83.3	▲ 14.3	14.3	0.0	▲ 30.0	10.0	▲ 20.0
小売	▲ 29.6	▲ 4.0	12.5	▲ 28.0	▲ 11.5	▲ 9.7	▲ 10.0
サービス	▲ 60.0	▲ 28.0	▲ 21.7	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 45.5

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに拡大。産業別にみると、卸売はマイナス幅が縮小したものの、他の4業種は拡大した。
 ○パン・菓子製造業からは、「円高の影響で外国人観光客が減少し、売上が落ち込んでいる」との声、精密機械製造業からは、「自動車向けの生産が震災前の水準に戻りかけているところに、タイ洪水で大手取引先の現地工場が生産停止となり、今後の影響を懸念」とのコメント。家具・建具卸売業からは、「円高の影響で、ヨーロッパ向けの輸出が約20%減少」とのコメント。旅館からは、「飲食店組合が11月上旬に1000万円分のプレミアム商品券（プレミアム率20%）を販売。年末・年始での売上増加に期待」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大するものの、製造は横ばい、他の3業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 54.3	▲ 52.3	▲ 38.7	▲ 44.4	▲ 30.2	▲ 41.9	▲ 38.6
売上	▲ 44.9	▲ 45.4	▲ 26.5	▲ 34.2	▲ 22.4	▲ 36.9	▲ 40.3
採算	▲ 44.2	▲ 46.9	▲ 37.4	▲ 38.5	▲ 29.3	▲ 34.4	▲ 37.7
資金繰り	▲ 37.2	▲ 36.5	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 20.4	▲ 23.8	▲ 31.3
仕入単価	▲ 33.6	▲ 30.2	▲ 30.5	▲ 31.0	▲ 24.6	▲ 22.2	▲ 17.7
従業員	▲ 10.1	▲ 14.7	▲ 9.0	▲ 1.7	1.7	▲ 3.8	▲ 8.8

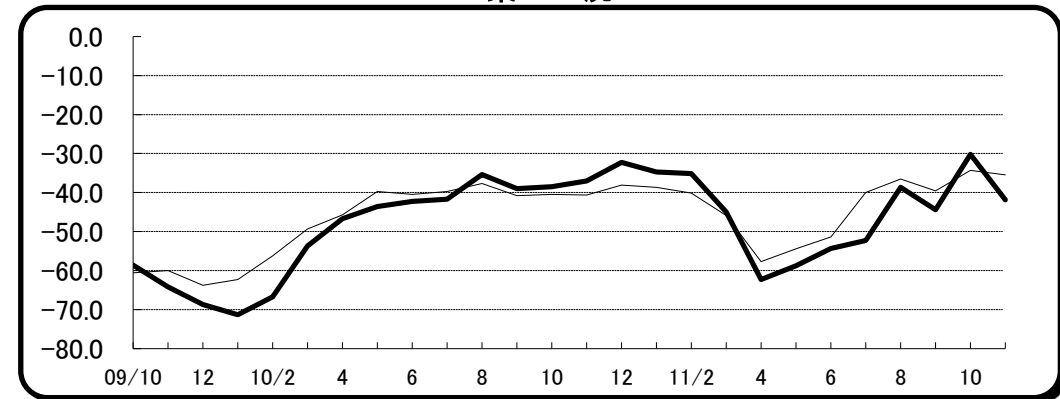
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 50.0	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 31.8	▲ 46.7	▲ 56.7
製造	▲ 35.3	▲ 38.7	▲ 32.5	▲ 32.1	▲ 3.6	▲ 24.3	▲ 24.3
卸売	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 28.6
小売	▲ 55.9	▲ 50.0	▲ 47.4	▲ 59.3	▲ 31.3	▲ 48.8	▲ 46.3
サービス	▲ 79.3	▲ 67.7	▲ 44.4	▲ 57.7	▲ 37.5	▲ 44.7	▲ 33.3

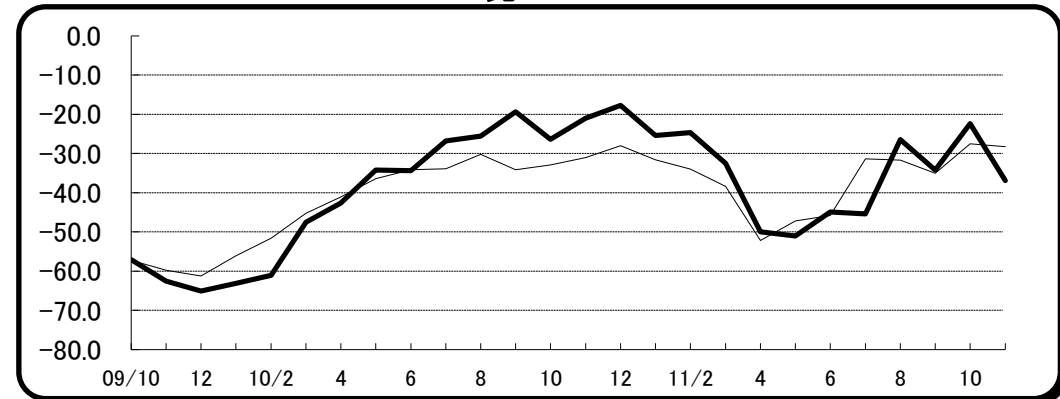
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

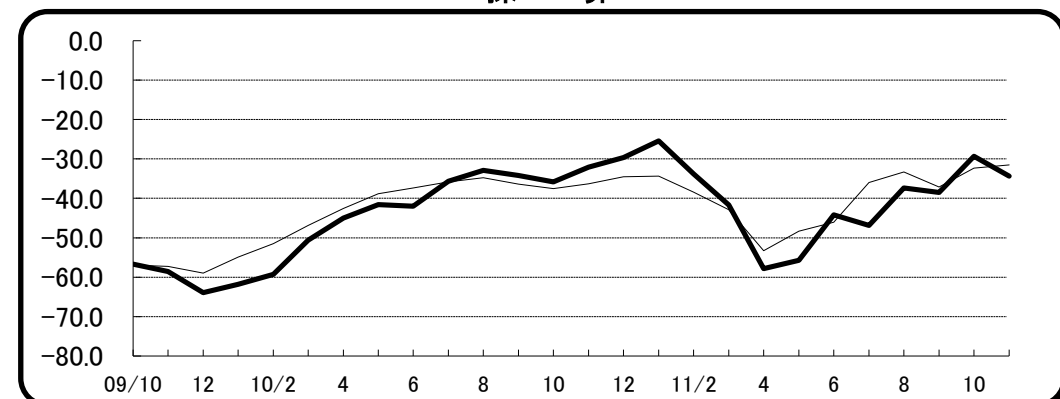
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月連続で縮小。産業別にみると、卸売はマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は縮小した。
 ○管工事業からは、「復旧工事の受注増加に対応するためのリース機械、下請け労働者の確保に苦慮」とのコメント。食料品製造業からは、「原発事故に伴う風評被害により、わら納豆の売上が低迷」との声、自動車部品製造業からは、「円高に伴う取引先からの強力なコストダウン要請に協力せざるを得ない状況」とのコメント。日用品小売業からは、「先月に続き、石油ストーブが品薄状態のため、必要数を確保できない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、卸売、小売はマイナス幅が縮小するものの、サービスは横ばい、他の2業種は拡大する見込み。

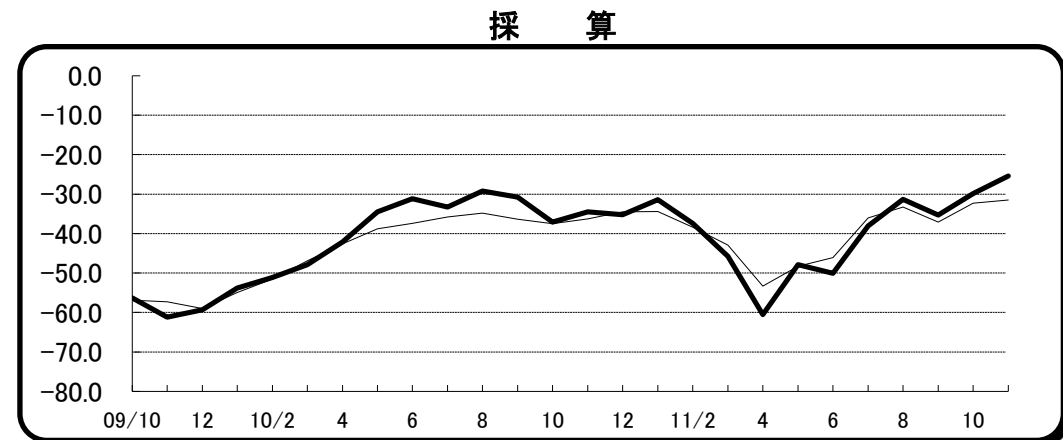
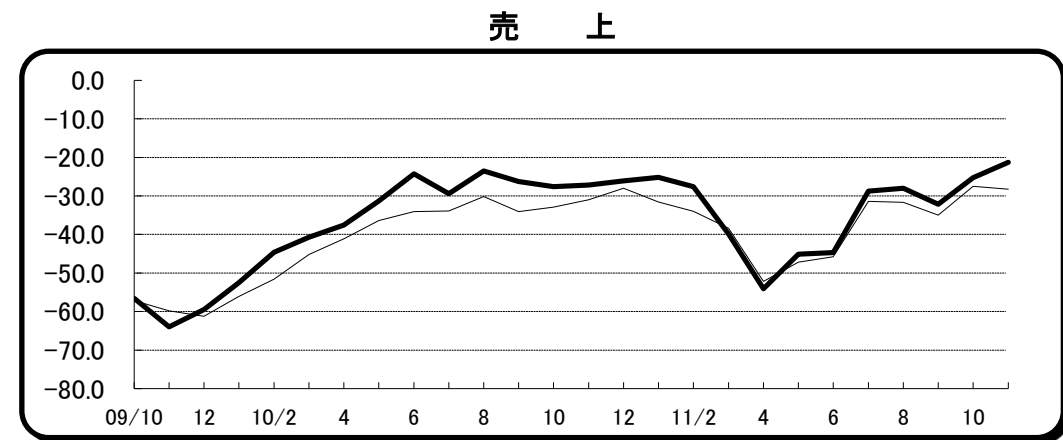
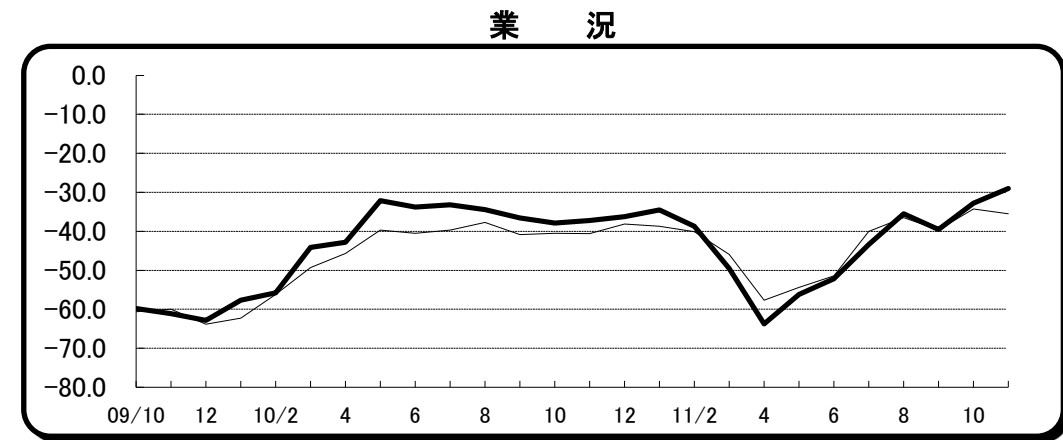
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 52.2	▲ 43.4	▲ 35.5	▲ 39.5	▲ 32.8	▲ 29.0	▲ 29.6
売上	▲ 44.7	▲ 28.8	▲ 28.0	▲ 32.2	▲ 25.3	▲ 21.3	▲ 20.1
採算	▲ 50.1	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 35.3	▲ 29.9	▲ 25.4	▲ 28.3
資金繰り	▲ 32.3	▲ 24.9	▲ 20.0	▲ 19.9	▲ 20.6	▲ 16.7	▲ 20.5
仕入単価	▲ 42.6	▲ 35.8	▲ 32.4	▲ 32.2	▲ 29.6	▲ 28.5	▲ 24.8
従業員	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 3.3	▲ 2.6	▲ 3.2	▲ 2.0	▲ 2.0

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 50.8	▲ 41.7	▲ 50.7	▲ 42.4	▲ 27.0	▲ 23.5	▲ 25.4
製造	▲ 43.6	▲ 37.5	▲ 23.3	▲ 34.3	▲ 23.2	▲ 19.3	▲ 30.3
卸売	▲ 51.4	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 34.5	▲ 21.4	▲ 28.6	▲ 22.2
小売	▲ 51.6	▲ 40.4	▲ 40.2	▲ 45.6	▲ 43.0	▲ 41.2	▲ 34.7
サービス	▲ 64.2	▲ 52.1	▲ 34.8	▲ 40.2	▲ 42.3	▲ 31.3	▲ 31.3

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が3カ月連続で拡大。産業別にみると、建設はマイナス幅が縮小したものの、他の4業種は拡大した。
 ○自動車部品製造業からは、「タイ洪水により取引先の現地工場が被災したため、大幅な減産を余儀なくされている」との声、工業用プラスチック製品製造業からは、「東北地方における復旧・復興工事向けの特需が発生。工場を昼夜操業しており、多忙の状況が続いている」とのコメント。総合スーパーからは、「原発事故の影響で、消費者から東北産の米、野菜、魚が安全かどうかの問い合わせが多く、対応に苦慮」との声、商店街からは、「なかなか気温が低下しないため、防寒用品・衣料が販売不振となっている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、製造はマイナス幅が拡大するものの、建設、小売は横ばい、他の2業種は縮小する見込み。

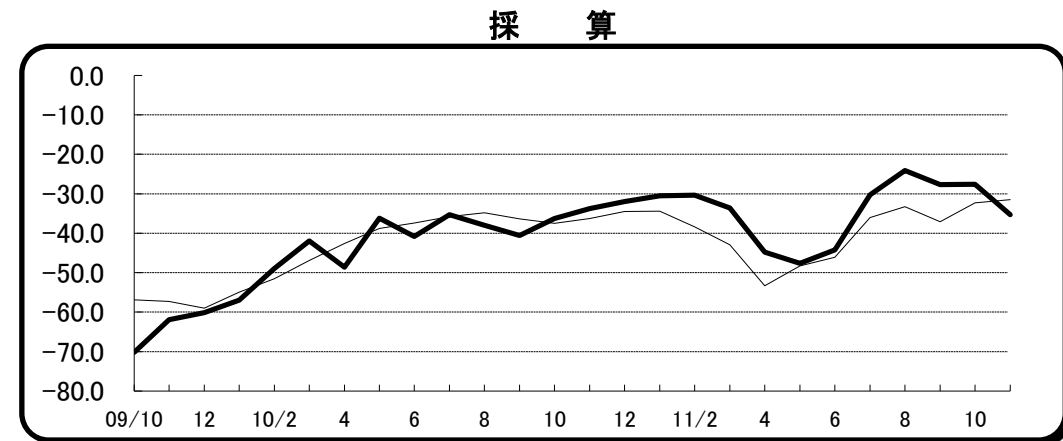
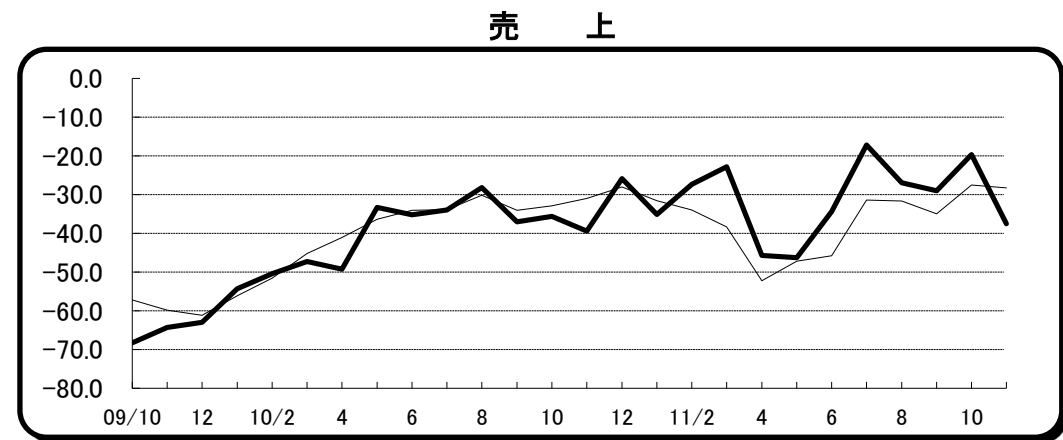
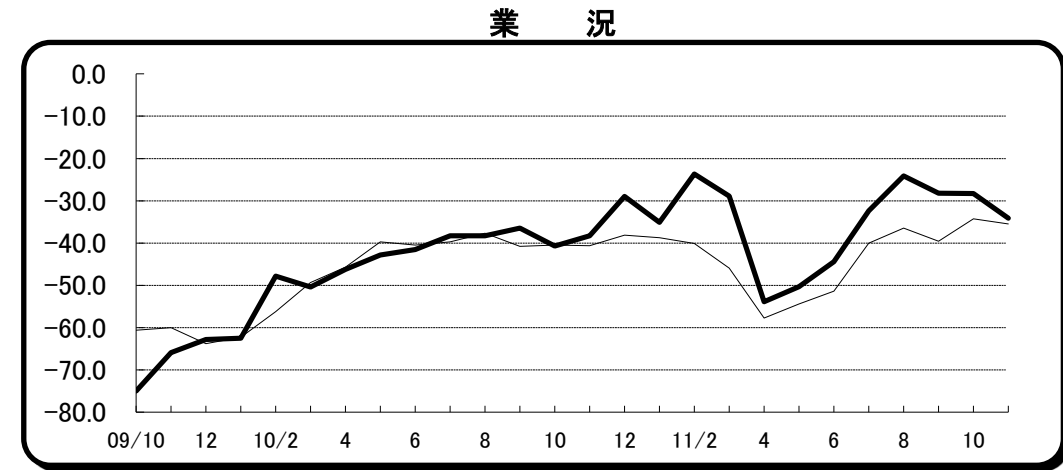
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲44.4	▲32.4	▲24.1	▲28.2	▲28.3	▲34.1	▲29.9
売上	▲34.4	▲17.2	▲27.0	▲29.0	▲19.7	▲37.5	▲22.6
採算	▲44.2	▲30.3	▲24.1	▲27.7	▲27.6	▲35.3	▲29.4
資金繰り	▲22.1	▲14.3	▲13.1	▲19.0	▲16.8	▲18.2	▲17.6
仕入単価	▲30.3	▲26.6	▲26.6	▲28.7	▲19.2	▲17.9	▲19.3
従業員	▲5.2	1.4	4.3	1.5	1.6	0.0	▲8.8

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲52.6	▲33.3	▲38.1	▲23.5	▲16.7	▲12.5	▲12.5
製造	▲31.8	▲7.9	▲7.9	▲18.9	▲21.9	▲24.4	▲31.0
卸売	▲68.4	▲58.8	▲50.0	▲46.7	▲60.0	▲64.3	▲46.7
小売	▲40.5	▲31.4	▲21.9	▲15.6	▲30.0	▲40.0	▲40.0
サービス	▲47.1	▲45.9	▲23.5	▲46.7	▲25.0	▲38.2	▲20.6

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、サービスはマイナス幅が拡大したものの、小売はほぼ横ばい、他の3業種は縮小した。
 ○電子部品製造業からは、「タイに工場がある取引先の生産が停滞しているため、今後、同社に納品できなくなるのではないかと懸念」との声、船舶造船・修理業からは、「円高の影響で、元請企業の受注環境が悪化。今後、自社の受注が減少するのではないかと不安を感じる」とのコメント。商店街からは、「震災後落ち込んだ日本人観光客は戻りつつあるが、外国人観光客は円高の影響もあり依然として低迷」とのコメント。ビル・工場メンテナンス業からは、「顧客から経費削減を理由に、今年度下期以降の受注価格を減額された」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、卸売は横ばいとなるものの、他の4業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 52.1	▲ 45.6	▲ 47.1	▲ 43.3	▲ 43.6	▲ 41.3	▲ 28.7
売上	▲ 48.8	▲ 42.0	▲ 45.3	▲ 46.7	▲ 37.6	▲ 30.6	▲ 25.1
採算	▲ 45.7	▲ 38.1	▲ 46.3	▲ 47.2	▲ 41.5	▲ 39.9	▲ 28.2
資金繰り	▲ 28.8	▲ 27.2	▲ 35.0	▲ 27.1	▲ 25.5	▲ 22.2	▲ 21.2
仕入単価	▲ 35.0	▲ 40.7	▲ 25.7	▲ 29.6	▲ 28.1	▲ 28.2	▲ 25.0
従業員	▲ 7.3	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 3.7	▲ 2.3	▲ 6.7	▲ 5.6

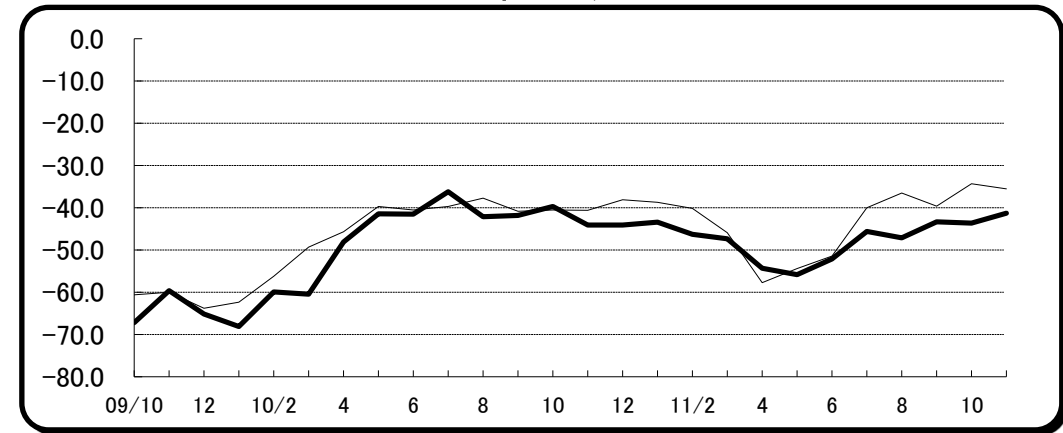
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 55.0	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 47.6	▲ 38.1
製造	▲ 47.8	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 34.9	▲ 39.1	▲ 34.7	▲ 30.6
卸売	▲ 50.0	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 18.8	▲ 35.3	▲ 17.6	▲ 17.6
小売	▲ 53.2	▲ 44.9	▲ 54.4	▲ 56.9	▲ 49.0	▲ 48.1	▲ 25.9
サービス	▲ 55.3	▲ 42.1	▲ 52.3	▲ 44.4	▲ 42.5	▲ 47.4	▲ 29.7

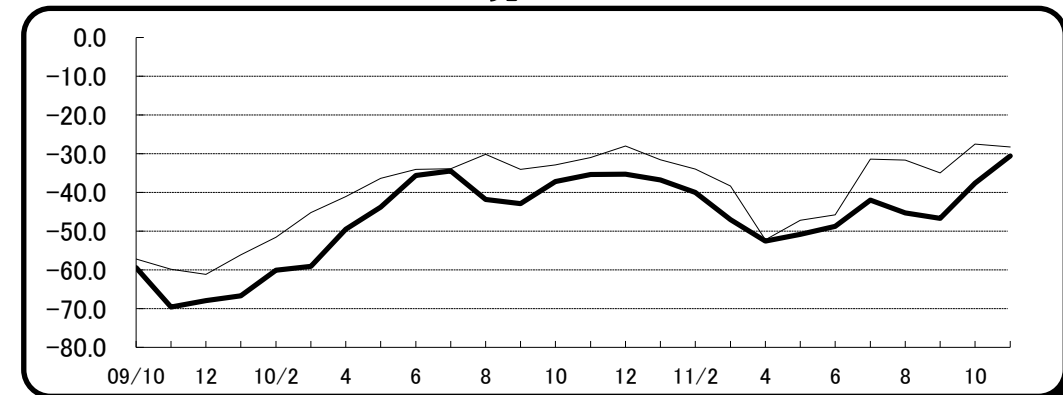
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

—— 近畿 —— 全国

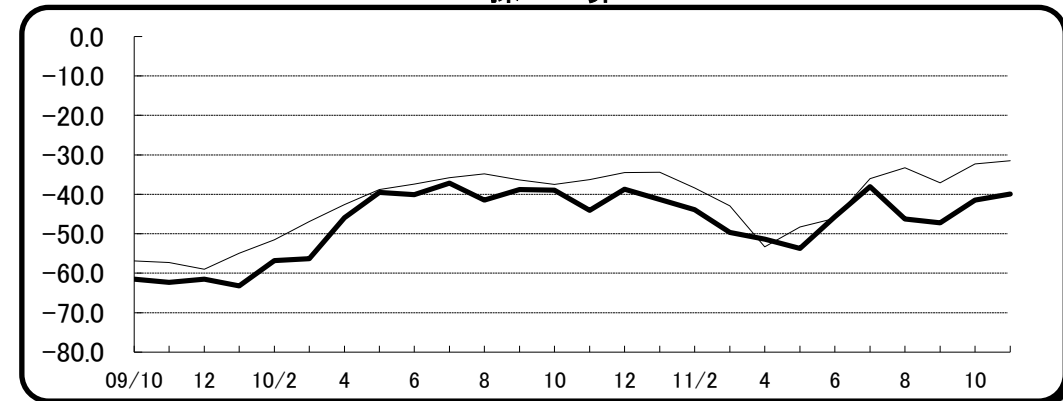
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（中国）
 中国 全国

○全産業の業況D Iは、前月と比べほぼ横ばいとなった。産業別にみると、建設、卸売、サービスはマイナス幅が縮小したものの、他の2業種は拡大した。
 ○一般工事業からは、「社員の高齢化が進むも、受注競争が激しく経営に余裕がないため、新規採用を控えている」とのコメント。織物外衣製造業からは、「秋物衣料が売上不振だったことから、在庫過剰となり、倉庫費用がかさんでいる」との声、印刷機械製造業からは、「円高により、輸出向けの受注量が読めないため、今後の設備投資の見通しがたたない」とのコメント。旅館からは、「震災後落ち込んでいた海外からの旅行客数は、9月以降改善傾向が続いている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大するものの、卸売は横ばい、他の3業種は縮小する見込み。

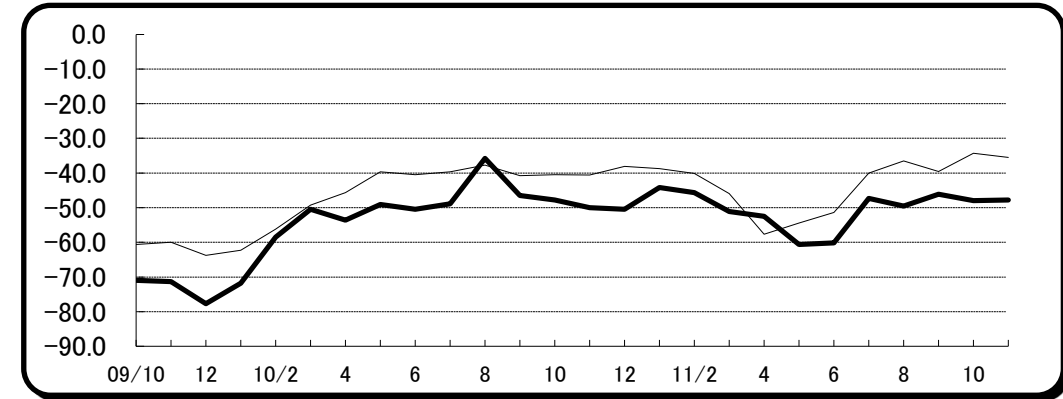
全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 60.2	▲ 47.3	▲ 49.5	▲ 46.1	▲ 48.0	▲ 47.8	▲ 37.8
売上	▲ 58.0	▲ 52.7	▲ 46.5	▲ 40.2	▲ 48.5	▲ 34.4	▲ 30.3
採算	▲ 43.2	▲ 41.9	▲ 30.7	▲ 36.3	▲ 41.6	▲ 32.2	▲ 21.3
資金繰り	▲ 36.0	▲ 38.0	▲ 33.7	▲ 30.7	▲ 31.6	▲ 33.7	▲ 24.7
仕入単価	▲ 23.0	▲ 26.4	▲ 21.0	▲ 14.9	▲ 22.2	▲ 21.3	▲ 12.4
従業員	▲ 26.1	▲ 15.1	▲ 23.0	▲ 13.7	▲ 17.0	▲ 14.4	▲ 8.9

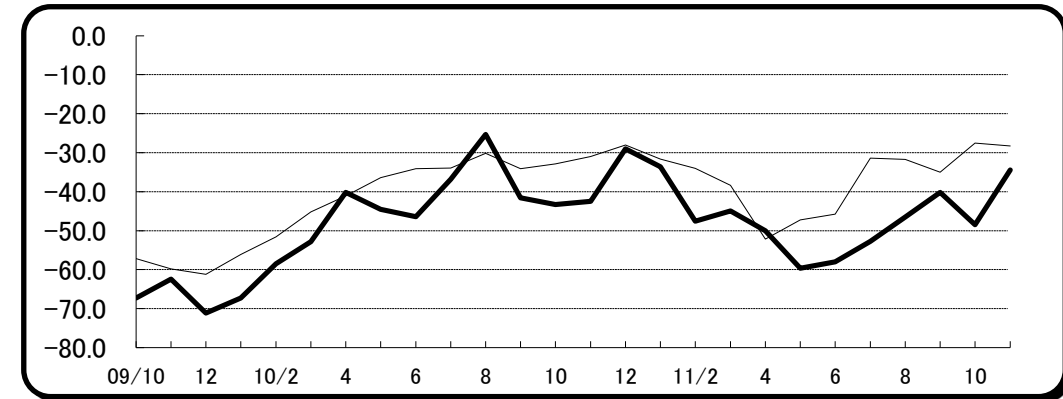
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 36.4
製造	▲ 48.1	▲ 34.5	▲ 35.3	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 40.0	▲ 30.0
卸売	▲ 75.0	▲ 58.3	▲ 53.8	▲ 54.5	▲ 58.3	▲ 36.4	▲ 36.4
小売	▲ 56.0	▲ 46.4	▲ 56.0	▲ 59.3	▲ 66.7	▲ 75.0	▲ 54.2
サービス	▲ 78.6	▲ 53.3	▲ 56.3	▲ 50.0	▲ 56.3	▲ 50.0	▲ 28.6

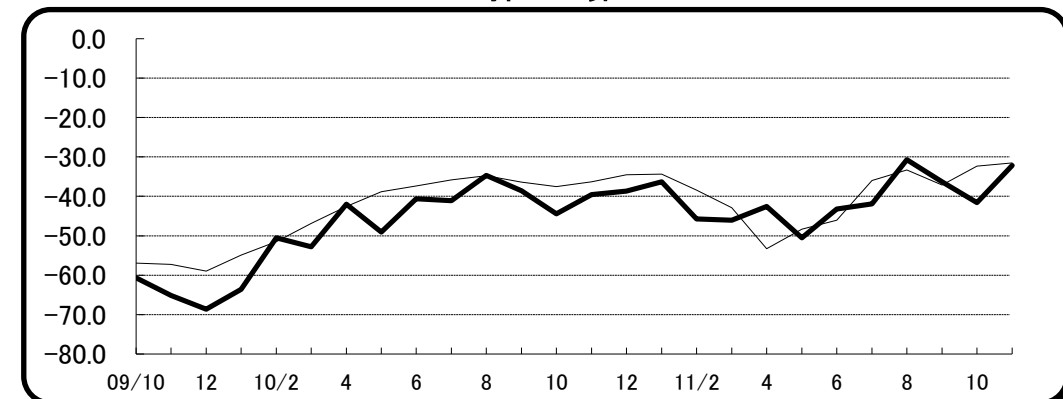
業況



売上



採算

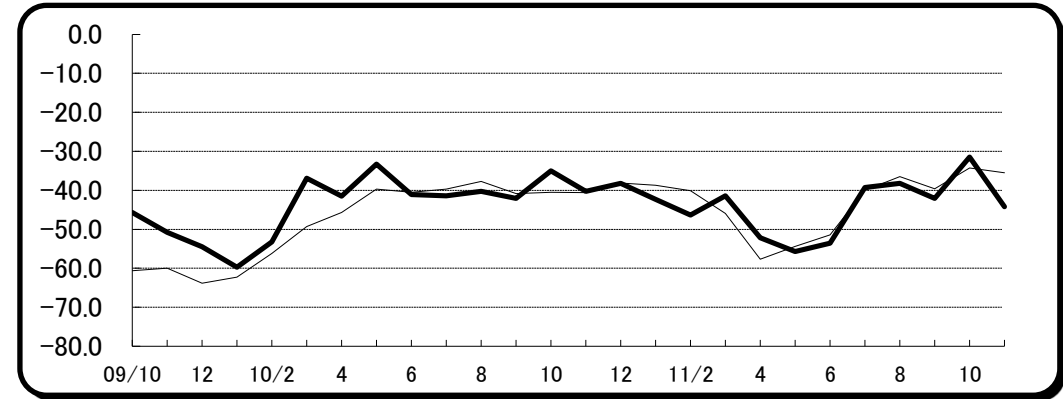


【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況D Iは、マイナス幅が2カ月ぶりに拡大。産業別にみると、建設、卸売はマイナス幅が縮小したものの、他の3業種は拡大した。
 ○一般工事業からは、「公共工事が減少しているうえ、受注価格も低下。また、民間建築の受注も低迷」とのコメント。織物外衣製造業は、「募集をしても技術者がなかなか集まらない」との声、漆器製造業からは、「省エネ対策の動きが広がっており、こたつが売れている」とのコメント。商店街からは、「地デジ完全移行の影響で、液晶テレビの売上が激減。液晶テレビに変わる商品がなく、非常に厳しい状況」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（四国）
 四国 全国

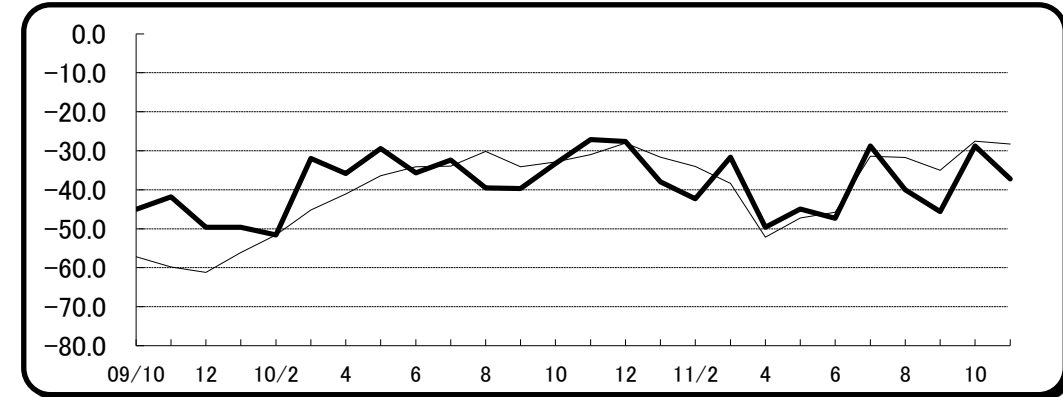
業況



全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 53.6	▲ 39.3	▲ 38.2	▲ 42.1	▲ 31.5	▲ 44.2	▲ 33.6
売上	▲ 47.3	▲ 28.8	▲ 40.0	▲ 45.6	▲ 28.8	▲ 37.2	▲ 23.9
採算	▲ 47.3	▲ 39.0	▲ 36.4	▲ 45.6	▲ 31.5	▲ 33.6	▲ 30.1
資金繰り	▲ 30.9	▲ 23.1	▲ 22.7	▲ 22.8	▲ 15.3	▲ 23.9	▲ 21.2
仕入単価	▲ 37.3	▲ 33.1	▲ 29.1	▲ 33.3	▲ 29.7	▲ 28.3	▲ 30.1
従業員	▲ 8.2	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 9.6	▲ 7.2	▲ 6.2	▲ 5.3

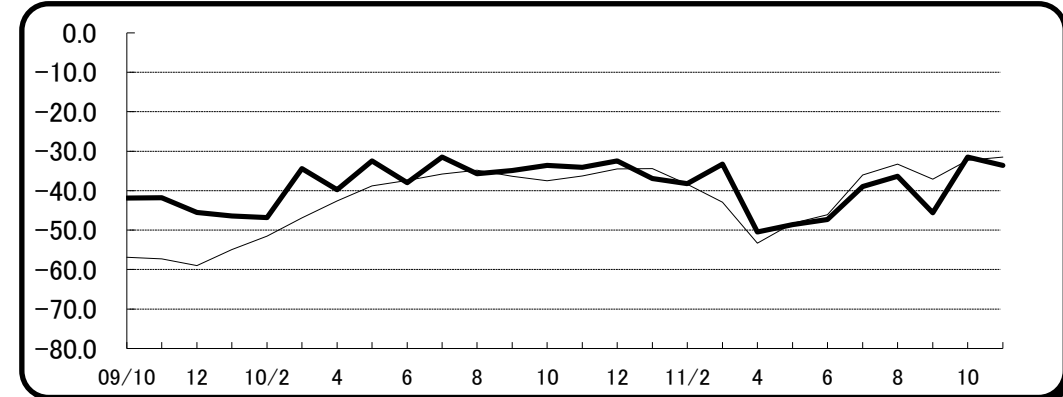
売上



産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 73.7	▲ 50.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 55.0
製造	▲ 18.5	▲ 24.1	▲ 18.5	▲ 30.0	▲ 17.2	▲ 39.3	▲ 28.6
卸売	▲ 70.0	▲ 70.0	▲ 55.6	▲ 70.0	▲ 50.0	▲ 12.5	0.0
小売	▲ 59.3	▲ 20.0	▲ 38.5	▲ 39.3	▲ 25.0	▲ 58.6	▲ 34.5
サービス	▲ 63.0	▲ 56.7	▲ 32.1	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 32.1

採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに拡大。産業別にみると、サービスはマイナス幅が縮小したものの、他の4業種は拡大した。
 ○金属加工機械製造業からは、「円高の影響により取引先の海外移転、海外調達が進んでいる。中小企業に対する海外調達に関する支援強化を望む」とのコメント。百貨店からは、「外国人観光客の回復が進んでおらず、街全体に活気がない」とのコメント。一般飲食店からは、「地元の原発関連企業の従業員が消費を控えており、売上が減少」との声、旅行業からは、「円高により、海外からの訪日客が激減している」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設は横ばいとなるものの、他の4業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

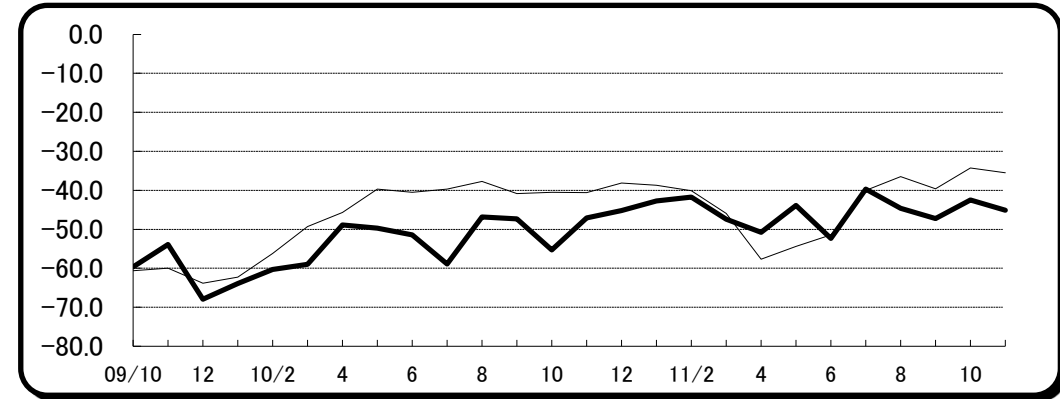
	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
業況	▲ 52.3	▲ 39.7	▲ 44.6	▲ 47.2	▲ 42.5	▲ 45.1	▲ 38.3
売上	▲ 50.5	▲ 31.3	▲ 35.1	▲ 35.8	▲ 32.4	▲ 32.6	▲ 25.4
採算	▲ 44.1	▲ 32.8	▲ 39.7	▲ 35.2	▲ 41.9	▲ 43.0	▲ 32.6
資金繰り	▲ 33.3	▲ 33.1	▲ 30.8	▲ 37.8	▲ 28.9	▲ 28.9	▲ 28.4
仕入単価	▲ 29.4	▲ 31.5	▲ 28.1	▲ 33.6	▲ 37.3	▲ 26.2	▲ 20.7
従業員	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 11.5	▲ 8.1	▲ 11.0	▲ 5.6	▲ 2.8

産業別業況DI（前年同月比）の推移

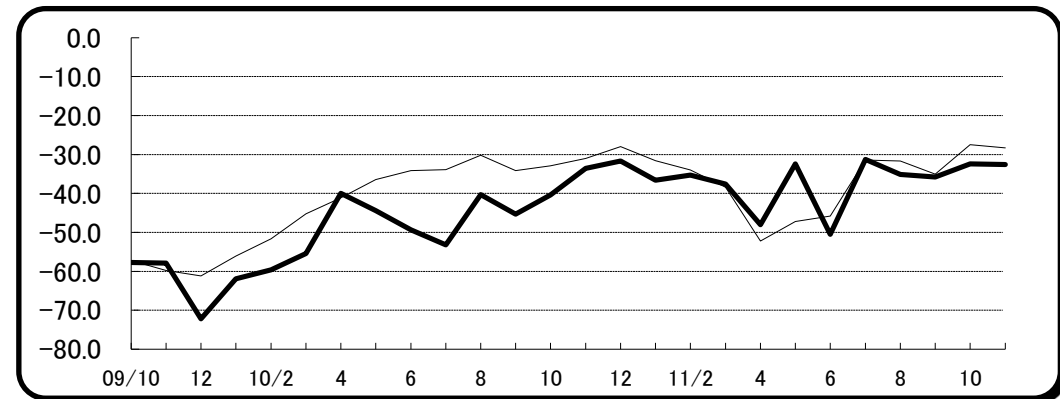
	11年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12~2月
建設	▲ 60.0	▲ 68.2	▲ 65.2	▲ 45.0	▲ 54.2	▲ 58.3	▲ 58.3
製造	▲ 46.2	▲ 46.9	▲ 42.4	▲ 43.3	▲ 39.3	▲ 41.9	▲ 32.3
卸売	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 69.2	▲ 61.5
小売	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 57.6	▲ 32.4	▲ 41.0	▲ 33.3
サービス	▲ 48.1	▲ 20.0	▲ 35.7	▲ 48.1	▲ 50.0	▲ 34.3	▲ 26.5

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）
 九州 全国

業況



売上



採算

